

第1回 新大阪周辺地域都市再生緊急整備協議会会議 議事要旨

■日 時：令和4年12月26日（月）15：00～15：45

■場 所：大阪府新別館南館8階大研修室

■出席者：別添の「出席者名簿」のとおり

■次 第：○開会

- ・あいさつ
- ・出席者紹介

○議事

1. 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 体制（案）

- ・新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会の全体像（案）
- ・議長の選出
- ・部会の設置
- ・運営要綱等の確認

2. 新大阪駅周辺地域のまちづくりロードマップ（案）

○閉会

■要 旨：

○開会

吉村 大阪府知事

本日は年末が差し迫った中、ご参加いただきありがとうございます。

大阪においては、いよいよ2025年大阪・関西万博まであと2年と少しという状況となりました。ここに向けて整備も進んでおります。うめきた2期も万博開催前の2024年に先行まちびらきが行われます。不発弾の処理で少し遅れることになりましたが、大阪公立大学の森之宮1期のキャンパス整備など、都心部の拠点形成を府市一体で力を入れて進めているところでございます。

その中で、極めて重要な拠点が新大阪駅周辺だと思っています。

新大阪駅は、現在においても西日本のハブ拠点として東海道・山陽・九州各新幹線、在来線が乗り入れる非常に重要な拠点となっていますが、今後更に、北陸新幹線やなにわ筋線、リニア中央新幹線も入ってくることで、まさに新大阪駅周辺が西日本の一大ハブ拠点エリアとなります。ですので、府市としても国土軸にあたるハブ拠点である新大阪駅周辺のまちづくりに非常に力を入れているわけでありまして、今後更に力を入れていきたいと思っております。

そのきつしよとしまして、国に都市再生緊急整備地域の指定の申請をしておりましたが、本年10月に指定がされました。この指定にあたりまして、内閣府の淡野事務局長をはじめとしまして、本日までご出席の皆様にご協力いただいたことに深く御礼を申し上げます。

す。

この新大阪駅周辺は西のハブ拠点として、そしてまさにこれは大阪だけでなく、関西、西日本、日本の中枢の拠点にもなると思っておりますので、このまちづくりを進めていきたいと思っております。

本日は関係者の皆さんと共にまちづくりを進めるスタートラインとして、新たな体制とロードマップについて共有をさせていただきたいと思っております。

ここにいらっしゃる皆様と一丸となって取り組みを進めていきたいと思っております。

この大阪の成長、関西の成長、日本の成長、そのためには新大阪の成長が必要だと思っておりますので、どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局

・出席者紹介

淡野 内閣府地方創生推進事務局長

本会議および協議会の根拠法でございます都市再生特別措置法を所管する立場から、簡単にご挨拶をさせていただければと存じます。

新大阪駅周辺地域は平成 30 年 8 月に都市再生緊急整備地域の候補地域として設定され、約 4 年間の濃密な議論を経て、先ほど知事よりご紹介をいただきましたように、本年 10 月に都市再生緊急整備地域として指定をさせていただきました。

大阪府・大阪市をはじめとする関係者の皆様方のこれまでのご協力、ご尽力に改めて御礼申し上げたいと存じます。

また、大阪府・大阪市におかれましては、当事務局が所管する国家戦略特区制度につきましても、データ連携や先端的サービスの実施を通じ、都市政策上の課題の解決を図るスーパーシティの指定を本年 4 月に受けまして、規制改革提案等にも積極的に取り組んでいただくなど、日本の都市政策を牽引すべくご尽力されているということに対し、心より敬意を表したいと存じます。

新大阪駅周辺地域は、今後リニア中央新幹線や北陸新幹線なども接続する新たなハブ拠点の形成を通じ、世界に繋がる関西のゲートウェイとしての役割を担うことが期待される極めて重要なエリアであると考えております。

今後は、広域拠点の形成に向けて、盛り上がるまちづくりの機運を周辺の新たなまちづくりに繋げていくことが重要であると考えており、本会議の活動を通じ、官民の関係者が連携した形での市街地の整備が一層推進されることを期待しております。

終わりに、本会議が新大阪駅周辺地域における新たなまちづくりを推進する上で有意義なものとなりますことを祈念申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

○議事

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

新大阪駅周辺地域につきましては、本年 10 月に都市再生緊急整備地域にご指定いただいたことから、法律に基づきまして都市再生緊急整備協議会を設置し、新たな体制でまちづくりを進めていくことになりました。

本日の会議は、新たな体制での 1 回目の会議となりますことから、まず協議会の体制案を、次に、まちづくりのロードマップ案をご議論いただきたいと思います。

協議会の体制につきましては、まず全体像をご確認いただいた上で、議長の選出、部会の設置、運営要綱などについて議決いただきたいと思います。

また、ロードマップにつきましては、リニア中央新幹線や北陸新幹線の開業時期となる 2040 年頃に向けて関係する事業をどのように進めていくか、こういったことについてご確認いただきたいと思います。

1. 新大阪周辺地域都市再生緊急整備協議会 体制（案）

事務局

・資料説明

- 新大阪駅周辺地域のまちづくりの経過
- 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会の全体像
- 本日の議決事項（協議会会議の議長、部会の設置、運営要綱等）

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

決議事項に入っていきたいと思います。

まずは 1 点目の協議会会議の議長の選出でございます。事前に内閣府様より本会議の事務局を務める大阪府の吉村知事が適任ではないかとお話をいただいております、吉村知事をお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。

一同

・異議なし

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

それでは、吉村知事に議長をお願いしたいと思います。

次に、まちづくり検討部会の設置についてはいかがでしょうか。

一同

・異議なし

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

それでは、まちづくり検討部会の設置について決定させていただきたいと思います。
その他、運営要綱などにつきましては、資料1-2のとおりとさせていただきます。

2. 新大阪駅周辺地域のまちづくりロードマップ（案）

事務局

・資料説明

- 新大阪駅周辺地域のプロジェクト
- 新大阪駅周辺地域のまちづくりロードマップ（新大阪駅エリア、十三駅エリア、淡路駅エリア、それぞれのエリア毎の進め方、民間都市開発の機運醸成（令和5年2月のセミナー開催等））

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

それでは、ご出席の皆様方からご意見を調整できればと思います。

関 公益財団法人関西経済連合会 専務理事

まず、本年10月に新大阪駅周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定されたことを大変喜ばしく存じてございます。ご尽力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。

さて、現在政府によって我が国の概ね10年間の国土のあり方を示す新たな国土形成計画の策定に向けた検討が進められております。本年7月には、国土形成計画（全国計画）の中間取りまとめが公表されましたが、その中の重点的に取り組む分野として、「スーパー・メガリージョンの進化」が掲げられております。

新大阪駅周辺地域は、全国的な視点から考えましても、東京一極集中の是正と複眼型国土の形成に関西が貢献するうえで非常に重要な拠点の一つと考えております。

今回、新たな体制とまちづくりロードマップ案をお示しいただきましたが、国全体にとっても大きな交通結節拠点として新大阪の都市機能をしっかりと充実させ、その効果を十三・淡路を含む周辺地域に広域的に波及させるためにも、その第一歩となる新大阪駅エリア計画は非常に重要であると考えております。

まちづくり方針2022にございます、スーパー・メガリージョンの西の拠点、広域交通ハブ拠点、世界に繋がる関西のゲートウェイとしての役割・機能が最大限発揮されるよう、今後、新幹線新駅関連プロジェクトや民間都市開発プロジェクトを確実に進めていくことを期待しております。

その際には、国際的な都市間競争を念頭に置いた求心力のあるグローバルな拠点作りのため、インターナショナルという視点を重視したまちづくりを期待しております。

また、大阪・関西万博の開催が迫っておりますが、新大阪駅周辺地域は万博レガシーの実装の場として非常に重要な地域であると考えております。2025年の先の未来に向けて

万博の成果を実装していくということも、まちづくり検討の中で考えていただきたいと存じます。

関経連といたしましては、引き続きリニア中央新幹線と北陸新幹線の1日も早い開業を目指した活動に力を入れてまいります。大阪府・市、関係事業者の皆様と一体となって取り組んで、新大阪駅周辺地域の活性化に貢献してまいりたいと考えております。

近藤 大阪商工会議所 常務理事・事務局長

本日、第1回の会議が開催されましたこと、地元経済界といたしましても大変嬉しく歓迎申し上げる次第でございます。

お話にございましたとおり、いよいよ今後、具体的なまちづくりがスタートすることになるものと存じます。ご関係の皆様のご熱意、ご尽力に改めて敬意を表させていただきます。

新大阪駅周辺地域は、新大阪駅から関西空港まで南北に延びる大阪都市軸と東西の国土軸が交わる、極めてポテンシャルの高い地域と存じております。

今後、リニア中央新幹線や北陸新幹線をはじめ、なにわ筋線・新大阪連絡線など大阪・関西の成長に不可欠な交通インフラの整備が進み、世界有数の広域的な交通結節機能を有することになろうかと存じます。

国内外から多くの人々を迎え入れる、世界に繋がる関西のゲートウェイとして、大阪・関西の魅力をもっと存分に感じていただく都市空間にしていく必要があるものと考えております。

今回の緊急整備地域の指定によりまして、民間の都市開発プロジェクトの機運は高まりつつあるかと思えます。この機を逃さずに民間の都市開発を誘発し、十三エリア・淡路エリアも含めた各エリアの個性を生かしたまちづくりを実現していくことが重要と存じております。

ご説明がございましたように、まちづくりロードマップ案の取り組みを着実に進め、各プロジェクトの情報を国内外に発信することで、世界から注目され、大阪・関西の成長を牽引するエリアとなることを目指しまして、大阪商工会議所といたしましても、地元経済団体としてしっかりと後押ししてまいります。

長谷川 西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長

皆様方のご尽力、そして熱い思いによりまして、この都市再生緊急整備地域に指定され、そして今日こうやって協議会が開催されるということに敬意を表したいと思えます。

新大阪につきましては、国土軸としてキタ・ミナミから関空に至る大大阪都市軸が結節をしておりまして、当社の山陽新幹線や関係在来線、そしてJR東海さん、大阪メトロさんも含めると、40～50万人というご利用がコロナ前においてはあったような重要な交通拠点でございます。

国内外から多くのお客様を迎え入れます、関西のゲートウェイである新大阪の都市再生は、うめきたや中之島とも機能連携をして、首都圏に並ぶ西の大きな拠点を作るチャンスであります。

新大阪が提供する価値は、広域交通拠点としてのポテンシャルを生かし、国の内外の様々な場所から人々が短時間で集うことで、出会い・体験・交流の時間価値を最大化することにあると考えております。

来春、大阪府・市様のお力添えを得まして、私ども大阪駅の新しい玄関口であるうめきた地下口そして西口が開業いたしますが、これからのうめきた西側エリアのまちづくりにインパクトをもたらすものになるかと思えます。都市再生プロジェクトである新大阪の広域交通結節機能整備も、機能的にも、そして規模的にも大きいものでございまして、駅からまちへのひろがりを作ってまちづくりに繋げていく、そういった大きなプロジェクトであると思えます。

私どもとしましても、広域移動、関西一円の移動を担う鉄道事業者といたしまして一層その役割を果たすとともに、グループを挙げて多くの方々に高い価値を提供できるように大阪府・市様をはじめ、様々な関係者の皆様と一生懸命取り組んでまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

金子 東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長

まず、本協議会の発足にあたりまして、関係の皆様のご努力とご尽力に敬意を表します。

新大阪駅は、コロナ前ですが東海道新幹線の1日の乗降人員が約17万人ということでございまして、弊社にとりまして非常に重要な駅でございます。

本日は、本協議会の全体像や、ロードマップ、今後の取り組みなどについてご説明をいただきました。この中で、リニア中央新幹線に対するご期待も大きいものと感じております。

リニア中央新幹線のルートと駅位置については、様々な要素を勘案しながら、最終的には環境アセスの手続きを経て決定をしていくものであります。現在はアセスの前段の準備と調査を行っているところでありまして、アセス自体をいつ始められるかについては、未だ決定できる段階にはございません。いずれにいたしましても、実現に向かっては今後、技術的な面だけでなく、様々な観点から、行政をはじめ地元の皆様にもご尽力、ご協力をいただくことが重要となりますのでよろしくお願いいたします。

弊社も鉄道事業者の立場から議論に参画をしておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

嶋田 阪急電鉄株式会社 代表取締役社長

新大阪駅周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定され、本日、第1回協議会会議が開催されましたことにつきまして、関係者の皆様のご尽力に改めて御礼を申し上げます。

新大阪駅周辺地域は、関西・日本・世界の広い圏域と繋がる大阪の新しい広域交流拠点になると確信しております。

地域整備方針では、新大阪駅を中心に、近接する十三駅エリア、淡路駅エリアが一体となったまちづくりが整備の目標に示されており、当社はその三つのエリア全てに関わる民間事業者として、様々な取り組みで拠点形成に寄与してまいりたいと考えております。

新大阪駅エリアでは、新大阪連絡線の新駅・駅ビル開発が区域内的の都市再生プロジェクトに位置づけられており、ターミナル駅にふさわしい複合的な都市機能を備えた施設を検討してまいります。

十三駅エリアにおきましては、新駅・駅ビル開発を中心に、周辺社有地を活用したまちづくりを、淡路駅エリアでは、連続立体交差事業で生み出される鉄道の高架下におきまして、柴島浄水場跡地活用と連携したまちづくりを展開したいというふうに考えてございます。

さらに、「大阪のまちづくりグランドデザイン」では、新大阪駅周辺地域から大阪梅田・うめきた周辺にわたるエリアにおいて、世界でも存在感を発揮する拠点形成が目指されておりますので、当社も新阪急ホテルや阪急ターミナルビルの建て替え計画の検討に際しましては、その動きと歩調を合わせて、関係者の皆様と協働し、エリアの発展に貢献していきたいというふうに考えております。

その中で、新大阪連絡線・なにわ筋連絡線の整備につきましては、新大阪・大阪間の連携強化をはじめ、京阪神方面・関西国際空港方面への利便性向上により、本地域のポテンシャルアップに有効な事業でございますので、鋭意検討を進めておりますが、ぜひとも行政や経済団体の皆様のご支援を賜りたく存じます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

河井 大阪市高速電気軌道株式会社 代表取締役社長

まず、新大阪駅周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定され、本日第1回会議が開催されましたことにつきまして、大変嬉しく思いますとともに、関係者の皆様のご尽力に改めて心から感謝申し上げます。

新大阪は大阪の北の玄関口であり、弊社の新大阪駅も約3割が関西圏以外からのご利用となっているなど、関西および日本における社会経済活動や観光の重要な拠点であると認識しております。そして今後その重要性はますます高まっていくものと思います。

このような中、弊社は現在、大阪の交通を圧倒的に便利にするとともに、様々なサービスを交通と一体的にご提供し、日常生活の質を向上することで大阪の進化・発展に貢献する「都市型MaaS構想」、これはかなり広い意味でのMaaS構想ではありますが、これを全社挙げて推進しており、大阪・関西万博までにその原型を完成させ、万博で具体的に提案し、その後、レガシーとして社会実装していく計画であります。

新大阪駅は、この構想との親和性が高いと考えておりまして、将来的には十三・淡路な

どの周辺地域との連携も重要になってくることも踏まえまして、これから交通の重要な拠点として、乗り継ぎハブの整備を手始めに、国内外の多様な人と情報の交流を促進し、さらにエリアを活性化する都市空間の形成を進めていく考えであります。

多くの方々との連携のもと、多様なモビリティによる交通の毛細化を図り、エリア内外でストレスのない快適な移動サービスをご提供するとともに、駅構内や駅周辺では、観光・ビジネスおよび日常生活のあらゆるニーズにお応えする様々なサービスを展開することで、新大阪駅のエリア価値の向上に微力ながらできるだけ貢献を果たしていきたいと考えております。

引き続き関係者の皆様との連携・協業のもと、新大阪のまちづくりへ最大限取り組む決意でありますので、よろしくお願いいたします。

渡辺 国土交通省近畿地方整備局長

まず、本日このように協議会会議まで行きついたことにつきまして、関係各位に敬意を表したいと思います。また、今後について期待しております。よろしくお願いいたします。

ここ大阪、それから名古屋、東京の最大三大都市圏というのは先ほどから出ていますスーパー・メガリージョンを形成し、西日本だけでなく日本全体の経済の回復、さらには世界をリードするということが大変期待されております。

リニア中央新幹線の開通によりまして、この三大都市圏が1時間で結ばれるということで、その期待はさらに大きいというふうに考えております。

近畿が西日本の玄関口として、このスーパー・メガリージョンの形成効果を西日本全域に波及させていくということには、リニア中央新幹線と他の交通との結節機能を強化すること、さらには西日本にある様々な拠点とが相互に結び付くことが求められているというふうに思います。

そのためには、交通がその機能を十分に発揮することが重要であり、道路、鉄道、港湾、空港等がそれぞれの特性に応じて役割を分担し、有機的かつ効果的な交通ネットワークを形成する総合的な交通体系を整備する必要があるものというふうに考えております。

新大阪駅につきましては、これまで乗り換え駅としての機能が主でありましたけれども、今後は都市の再開発を通じて、まちと駅が一体となって新しい広域産業拠点として生まれ変わることを期待しております。

また、その開発に合わせて、交通拠点の機能を発揮するための広域交通結節施設の整備と様々な地域拠点を有機的に結ぶ交通ネットワークの整備が重要になるかというふうに思います。

このため、国土交通省近畿地方整備局としても、新大阪駅周辺のまちづくりや関連交通網の整備など様々な分野において、積極的に協力支援を行っていきたいというふうに考えております。

金井 国土交通省近畿運輸局長

まずは、本日第1回の協議会会議が開催されたことにつきまして、大阪府市をはじめ関係者の御尽力に敬意を表する次第でございます。

ご案内のとおり、3年近くにも及ぶコロナの影響がありまして、特に関西地域では、これまで観光需要、とりわけインバウンド需要が旺盛だったということで、観光産業もとより交通産業さらには地域の経済は大きな打撃を受けているところでございます。そうした中、ご案内のとおり全国旅行支援とともにようやくインバウンドの受け入れが本格的に再開されまして、今後さらなる人流の回復が期待されているところでございます。

また、2025年大阪・関西万博の開催がいよいよあと2年3ヶ月強に迫る中で、交通や観光における広域的な拠点として、世界中から旅客を受け入れることとなるこの新大阪駅が持つ重要性はこれまで以上に高まっていると認識しております。

現在、近畿運輸局では、万博に向けて、観光需要を確実に回復させるために観光政策と交通政策を一体的かつ強力に進めるということにしており、「万博に向けた関西観光アクションプラン」というものを策定して、多くのプロジェクトを進めているところであり、万博に向けまして関西全体をパビリオン化するという考え方のもとで、万博来場者の関西周遊を促進する取り組みを進めております。

そして、現在、近畿運輸局でも推進しております「関西MaaS」と連携しまして、関西全体の広域観光を促進していきたいと考えております。

このような取り組みによりまして、この関西のゲートウェイや広域交通のハブ拠点としてのさらなる役割が期待されます新大阪エリアのまちづくりとの相乗効果によりまして、関西全体における観光・交通がさらに発展することを期待しているところでございます。

淡野 内閣府地方創生推進事務局長

私の方からは、都市再生の観点から3点申し上げたいと存じます。

1点目は、民間都市開発誘導の必要性です。新大阪駅を世界に繋がる関西のゲートウェイとして整備していく中で、今後は、広域交通結節点としての強みを発揮しつつ、駅周辺地域における民間都市開発をいかに誘導していくかが重要な課題となっていくと考えております。万博の機会等を活用していただきつつ、駅周辺地域のまちづくりを上手にブランディングしていただければと存じます。

2点目は、歩行者空間整備の重要性です。新大阪駅周辺地域の魅力を高めていくには、駅を含む周辺空間一体を、例えば、なんば駅で現在進められているような一体性のあるウォークアブルな空間に作り変えていく必要があると考えております。歩きやすい空間を一体的に整備していくことにより、新たな交流が生み出され、まち全体の魅力の向上に繋がると考えています。

3点目は大阪都市圏の各拠点との連携の確保です。新大阪駅周辺地域が各拠点と相互

に連携していくことが、大阪都市圏全体の活性化に向けて重要であると考えております。万博を契機とするまちづくりや、うめきたエリアなどの拠点整備と連携して、大阪都市圏全体の活性化をぜひ図っていただければと存じます。

以上の点につきましては今後、まちづくり検討部会などにおいて関係者で幅広くご議論いただく中で、取り上げていただければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

松井 大阪市長

この新大阪駅周辺地域が間違いなくスーパー・メガリージョンの西の拠点となるわけですから、広域交通の一大ハブ拠点としての役割を担っていくことが重要であります。

リニア中央新幹線と北陸新幹線の動きと合わせて、世界有数の広域交通のターミナルのまちづくりを目指していきたいと思っております。そういうためのロードマップだということに理解をしています。

うめきた・森ノ宮などの拠点整備が今着実に進められています。次の拠点がこの新大阪であります。十三・淡路を含めてこのロードマップ、ステップをもとに、府・市一体で着実に進めたいと考えております。

吉村 大阪府知事

新大阪の重要性については冒頭の挨拶で申し上げたとおりです。

今回このロードマップですけれども、これはリニア中央新幹線や北陸新幹線の動きと合わせながら進めていくと、そして今この関係者で共有するということが非常に重要だと思っております。

その中で周辺の民間の都市開発、これが連鎖的に進んでいくように、この機運醸成を進めていくということも重要だと思っております。

今後、実務的な会議として、副知事・副市長が参画しますまちづくり検討部会でこのロードマップの大きな方向性をもとに詳細を詰めていってもらいたいと思っております。またその際、大阪都市計画局、これは府・市が一体になって作っている計画局ですけれども、この計画局が中心となって調整をして進めていってもらいたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

それでは、議題2のロードマップにつきましては、案のとおりとしてまいります、よろしいでしょうか。

一同

・異議なし

角田 大阪府・大阪市大阪都市計画局長

ありがとうございます。それでは、このロードマップのもとに、皆様で協力して進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○閉会

吉村 大阪府知事

本日は、皆様から様々な貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。
新大阪駅周辺地域の新たなまちづくりについて良いスタートが切れたと思います。
体制の構築と、そしてロードマップの確認をいたしました。

今後、これを基に、皆様と一体になって、そして大阪府・市が一体となってこの新大阪のまちづくりを進めていきたいと思っております。

新大阪のブランドの向上、それから民間都市開発の組成、様々な関連するプロジェクト等が出てくるとは思いますが、ぜひどんどん実務部会の方で前に進めてもらいたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、今後も引き続きどうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。
本日はありがとうございました。